

海洋イニシアチブ 概要

加速する気候変動、違法かつ持続不可能な漁業、生息地の消失——これらは、海洋の健全性を脅かす3大脅威であり相互に関連している。これらの脅威によって、海洋生態系は劣化し、生計・栄養摂取・文化遺産の面で海洋に依存する何十億もの人々が悪影響を被り、中でも特に大きな被害を受けるのが先住民や沿岸地域の人々である。脆弱なガバナンスと利益優先の水産業のサプライチェーンによって、こうした脅威はさらに深刻化し、人権侵害と不公平は根強く横行する。これまで行政、サプライチェーン、海洋保全の分野、慈善活動において、海洋に依存するコミュニティは、自らの権利や自らが依存する海洋資源に影響を与える意志決定の場から、過剰に締め出されてきた。

パッカード財団は、長期にわたって海洋科学と海洋保全を支援しており、当財団の海洋に対するコミットメントの次段階、「海洋イニシアチブ 10カ年（2023～2025年）」として、**現在、そして将来にわたって人と自然のために海洋生態系を保護し、回復することを目指す。**

海洋イニシアチブの取り組み

海洋イニシアチブを進める上で、その鍵となる考え方は次の2つである。1) 海洋に依存するコミュニティのニーズと権利を中心に据える。2) 社会システムや地域・国全体または国際的な規模で好影響をもたらすために、より意図的に取り組む。

海洋に依存するコミュニティのリーダーシップの拡充

海洋に依存するコミュニティが解決策を策定する機会に参画することで、また彼らの参画やリーダーシップを政策や法律によって支援することで、より永続的かつ多大な好影響をもたらすことを示す一連の証左が増えている。

海洋イニシアチブでは、健全な海に最も依存するコミュニティを主軸に、コミュニティが海洋生物多様性の保護と回復、公平で持続可能な漁業の実現、海の力の活用など、気候変動による悪影響の緩和策の策定と実施に関与する。これには、先住民、漁業従事者、その他の地域コミュニティが、彼ら自身や彼らの海洋資源に影響を及ぼす解決策の立案と実施を主導するための、直接的な支援も含まれる。また、先住民・労働者・地域社会の権利を守り、彼らの権利と暮らし方を支持する政策と活動を支援し、海洋スチュワードシップにおける彼らの深い知識と経験を尊重することも、これに含まれる。



社会システムや地域レベルの取り組み

海洋イニシアチブでは、複数の地域レベルにわたる3つの重要な社会システムの変革を支援し、海洋の健全性に対する主要な脅威に対処するよう設計されている。

- **市民社会**：海洋に依存するコミュニティや市民社会の関与を強化する活動に資金を提供し、より包括的で強力な海洋保全運動と解決策を構築する。
- **水産業のサプライチェーン**：水産業のサプライチェーンに関与する活動に資金を提供し、違法（IUU）漁業、乱獲、人権侵害を阻止すると同時に、不公平の是正に取り組む。
- **ガバナンス**：ガバナンス改革を推進する活動に資金を提供し、海洋生態系と海洋に依存するコミュニティの保護を強化する。

国・地域レベルでは、**チリ、中国、米国、インドネシアの4カ国**に対し重点的に取り組む。これらの国々は、複数の指標（生物学的な重要性、海洋生態系に対する人間の依存度、好ましい変化をもたらす機会など）に基づき優先付けが行われた。当財団は、これらの国々において小規模漁業、地域を中心とした共同管理、海洋を基盤とする気候変動対策に関して、統合された取り組みを進めていく。

統合的な3つのポートフォリオ

海洋イニシアチブの助成活動は、統合された3つのポートフォリオで構成されている。

海洋生息地とコミュニティ

海洋生息地とコミュニティポートフォリオの目標は、**保全と海洋スチュワードシップのための公平なアプローチを通じて海洋生息地を保護、回復し、その結果、生物多様性と人間のウェルビーイングにプラスの成果をもたらすこと**である。本ポートフォリオでは以下に注力する。

- 先住民、地域社会、その他の海洋に依存するコミュニティの主導の下で、公平かつ地域に根ざした海洋保全と海洋スチュワードシップを支援する。
- 絶滅の危機に瀕する海洋鳥類と関連生態系を保護、回復する。

どちらのアプローチも、海洋生物多様性の保全に大きな付加価値を提供し、気候変動の悪影響や生物多様性の喪失に対して、とりわけ脆弱な人間社会と生物種に焦点を当てる。





グローバル漁業

グローバル漁業ポートフォリオの目標は、**政策、慣行、インセンティブの強化により、より公平で持続可能な水産業セクターを実現し、漁業者および漁業従事者の安定した生計、ディーセント・ワーク（働きがいのある人間らしい仕事）、食糧の安全保障を確保し、IUU漁業や人権侵害を根絶することである。**本ポートフォリオでは以下に注力する。

- 海洋に依存するコミュニティが経営や意思決定に関与するために、その能力とリーダーシップを強化する。
- 水産業のサプライチェーンに対するインセンティブを支援し、その透明性と説明責任を高める。
- 漁業および漁業従事者の保護に取り組む国際的な合意の締結と実施を支援する。

海洋に依存するコミュニティの地域的な能力支援に加え、当財団は、水産業のサプライチェーンおよび国際的なガバナンスにおける人権に基づくアプローチを支援し、またサプライチェーンやガバナンス機関に対し、コミュニティのリーダーシップと権利を（弱体化させずに）強化するよう働きかける。



海洋を基盤とする気候変動対策

海洋を基盤とする気候変動対策ポートフォリオの目標は、**各国政府が責任ある海洋を基盤とする気候変動対策を導入し、2050年までの世界平均気温の上昇幅を、産業革命前を基準に2°C以下に抑えることである。**本ポートフォリオでは以下に注力する。

- 気候と海洋の健全性の目標を満たす、カリフォルニア州の責任ある浮体式洋上風力発電モデルの実証を支援し、同モデルを地域、国、世界のパートナーとともに、推進する。
- 海洋の二酸化炭素除去の行動規範とガバナンスを支援する。（本取り組みは2025年に延期）

カリフォルニア州では、洋上風力発電の開発において野心的な短期目標が設定されており、同州のイノベーションは、気候、人々、環境に利益をもたらすために、他の地域における責任ある世界の浮体式風力発電の開発を促進、あるいはそのモデルケースとなり得る。

期待される好影響

市民社会、水産業のサプライチェーン、そして行政が、海洋生態系の健全性と海洋に依存するコミュニティの権利を優先すると、海洋は、驚くべき復元力を発揮し回復することができる。海洋イニシアチブは、以下のような好影響をもたらすことを目指している。

- **市民社会がリーダーシップを発揮し、海洋ソリューションに必要な能力を構築する。** 漁業管理や海洋保全計画の立案および実施において、海洋に依存するコミュニティが主導的な役割を担い、多様な市民社会組織およびそのリーダーたちは、海洋を基盤とする気候変動対策の意思決定に関与する能力と資源を有する。労働者および労働団体は、企業のコミットメントと活動を知らしめ、民間セクターに説明責任を課す。
- **水産業のサプライチェーンが違法漁業や人権侵害を阻止し、より公平で持続可能な水産業を提唱する。** 企業は違法漁業、人権侵害、環境悪化の相互関係を理解し、サプライチェーンにおける違法漁業と人権侵害を根絶するために協調行動を取る。水産業界のリーダーたちは、競争の場を公平化し、広範な変革を促すために、あらゆるレベルのガバナンスにおいて、より強力な政策と執行を提唱する。
- **意思決定と資源配分に際し、ガバナンスが人間のウェルビーイングと生態系の利益を優先する。** 地域・国・国際的なガバナンスの枠組みは、海洋生態系の強力な保護、ディーセント・ワーク（働きがいのある人間らしい仕事）、資源への公平なアクセスを重視し、海洋スチュワードシップにおける海洋に依存するコミュニティの権利とリーダーシップを尊重する。気候変動緩和政策においては、気候変動と闘うために海の力を活用し、地域や先住民コミュニティに悪影響を及ぼさず、海洋の健全性に真の利益をもたらす上で、最も効果的な解決策を優先する。

現在進行中の助成については、現時点から2025年3月までの間は予定通り更新される。助成に関する問い合わせや新規プロジェクトについては、理事会による本ポートフォリオ戦略の承認後、2025年春以降の対応と検討が見込まれる。

